

掛け幕の滝

菊池溪谷で最も落差のある約 20m の掛け幕の滝。溪谷のビジターセンターの近くにある橋の真下にあり、滝の下から上がる水しぶき越しに溪谷の下流を見ることができる。条件次第では、水しぶきの中に虹がかかることもある。

菊池溪谷を代表する険しい滝でもある。菊池溪谷の火山岩は、噴火による高温の物質と低温の空気との相互作用によって、垂直方向に割れ目ができている。この割れ目から水が入り込み、長方形の岩塊が落下する。その結果、断崖絶壁となり、このような滝ができるのだ。

滝の名前は「掛かっている幕」という意味で、落水が背後の崖を隠し、舞台と客席を隔てる大幕のように見える。